

令和7年度町政懇談会意見交換要旨

【目 的】 町長が各自治会に出向き、テーマに沿って意見交換を行い、今後運営に資するもの

【期 間】 令和7年10月18日(土)～12月7日(日) 10日間

【テーマ】 「豊能町の健康と福祉」

【対 象】 町内自治会 【参加人数】 210名

意見交換要旨

	意 見 ・ 要 望	回 答
1	コミュニティカーシェアリングについて、運営費等に対する町からの補助はないのか。町からの補助があれば利用促進が進むのではないのか。	車両購入費や維持費に対する補助を実施している自治体もありますので、参考にしながら検討していきます。
2	地域包括支援センターが業務委託になるとのことだったが、何が変わるのか。 今日の資料で初めて知る部分が多かったので、さらに情報提供を行って欲しい。	原則はこれまでと変わりませんが、夜間対応や休日対応、人材確保など、町で運営していた際のウィークポイントを補うことができると考えています。 今後も引き続き積極的な周知に努めていきます。
3	老人クラブについて、連合会に入っていない地域も多いが、働きかけを町からお願いしたい。 このままでは、地域の力を引き出せないことにつながる。民生委員や社協にも橋渡しをして欲しい。	町老連と単位クラブの関係が希薄になっており、課題と感じています。町から単位クラブに積極的に情報提供を行うなどの方法も含めて検討していきます。
4	通いの場とはどういうものなのか。	介護予防の一環であり、地域の人に自宅を活用し集ってもらい、百歳体操や脳トレなどを通して交流を図り、介護予防につなげる仕組みで、現在、東地区には通いの場がないため、興味を持っていただける方がいれば、地域に入って話をしていきたいと思えます。
5	免許返納が多くなってきている。 お出かけくんの様な、利用しやすいものを作ってほしい。 移動販売車、志野の里で作ってもらって利用できるようにしてほしい。地域の商店に補助を出して担ってもらう	免許返納者の移動については、まずは、デマンドタクシーを利用いただくようお願いいたします。 介護認定を受けられた方については、お出かけくんを利用してもらい、買い物などでも利用していただき、移動販売車について

	<p>ことも行ってほしい。</p>	<p>は、生協などを利用いただき、実現については検討していきます。</p>
6	<p>高齢になると生協の利用もしにくくなる。移動についても利用しにくくなっている。バスの利用については帰りの時間帯が無くなり、昼間の時間帯も利用しにくくなっている。利用しないとなくなっていくので、利用してもらうようなPRもどんどんやってほしい。</p>	<p>デマンドタクシーの制度がありますが、利用いただけていないこともありますので、併せて周知を行っていきます。</p>
7	<p>朝、夕に大型トレーラーが走っている。自粛をしてほしい。上音羽から余野に向かっての利用も違法だと思う、朝、夕、先導者も付いていないものが走っている。走るなどは言えないが、せめて通学時間帯は走らないようにしてほしい。</p>	<p>池田土木事務所に申請が出ているかを確認し、対応していきます。</p>
8	<p>高齢化率が上がり、少子化になっていく、財政状況は、成り立っていくのか。</p>	<p>人口規模に合わせた形での事業を行っていきたいと考えています。公共施設再編などは、3万5千人を目指していた事業から1万5千人を目指した事業に見直しを行って、複合化をしていきます。教育面からは、義務教育学校の整備により再編したところです。</p>
9	<p>バスの減便について、森町から箕面萱野までは、バスが走っているので、ここから森町までのバスを走らせてもらえれば利用しやすい。</p>	<p>池田行きは、2時間に1本走っており中止々呂美で乗り継ぎができます。その間の時間帯については、デマンドタクシーを走らせており、1時間おきには、中止々呂美に出れるようになっています。夜の便については、今後の課題と考えています。</p>
10	<p>西地区については、箕面萱野便もある、その便に合わせたらいい。電車もあるので、無駄な便になっていると思っている。</p>	<p>医療、スーパー、公共交通は、行政が直接行うことはできず、課題がいろいろとあります。乗務員不足もあり、なかなか難しい問題となっています。</p>
11	<p>池田便は、廃止にして、他の便にまわしたらいいのではないか。</p>	<p>町としては、全体の運行を見てやっていきたい。箕面萱野便も2便に減便されています。回送便も有効に利用できないかバス事業者と交渉していきます。</p>

12	戸知山に残土を持って行ってるが、何か使うことはあるのか。	公共施設の整備を行っておりますが、施設の高さを合わせるために残土の利用ができないか考えています。詳細が決まれば改めて報告します。
13	人口減少の空き家問題については、どう考えているのか。	町内の空き家については、人口を呼び込む施策を行っております。移住補助金や除却補助金の制度を行っており、利用実績も出ています。 義務教育学校の整備、地域の活性化、賑わいづくりをやっていき、制度の周知も併せてやっていきます。
14	認知症伴走型相談支援拠点整備の件数は、どれくらいあるのか。	事業者をお願いしているところですので、全ての利用状況は把握できていませんが、なかなか利用してもらえていないと聞いています。認知度が低い状況にあり、広報が足りないのではとの声もありましたので、今後は周知方法を考えていきます。
15	国保診療所では、夜の診療ができていないので、夜の診療ができれば、利用することもできると思うが、どうか。	夜診療については、今のところできておりませんが、予約も行えるので利用をお願いします。 公共施設再編整備で新しい診療所も整備する予定となっていますので、利用しやすい施設にしていきたいと思っております。
16	診療所は、毎日診療ができるので、ありがたい。何かあった時には、特定健診などのデータを利用して診察を受けることもでき、阪大病院、池田市民病院などを紹介してもらえるので安心である。	何かあった際には、池田市民病院を紹介されて安心したとの声も聞いています。身近な診療所として、歯科も設置しておりますので、今後も受診をお願いします。
17	熊の出没については、足跡などの確認は取れているのか。1頭なのか何頭いるのかデータがとれると思うがどうか。	足跡までの確認は、取れていません。高槻の方では、養蜂場が被害にあっているのので、熊がいると考えます。 熊の目撃情報があれば現地確認を行っており、本町では、公用車のドライブレコーダーで確認できた1件のみで、その他の情報では、痕跡や農業等の被害や通報もありませんでした。 目撃情報の頭数は、1頭ずつであり、同一の個体かも不明の状況です。
18	熊は、まだ少ないが、鹿、イノシシの個体数の対策を行わないと農家の悩みとなっている、絶対数を減らす対策	町での対策には限界があり、国にも対策を行ってもらうなど、要望を行ってまいります。

	をしてほしい。電柵などでは、限界がある。	今後は、個人の対策と地域で取組む獣害対策を考えていくため、3月に専門家を招き、取組みの紹介と地域の方々への意識向上を図る予定をしています。
19	箱わなは、町でどれくらいあるのか。絶対数が足りない。捕まると罠が壊れて使えなくなり、町の補助金などのフォローがあれば、対策を行う人もでてるのではないか。	箱わなは、シカ・イノシシ用で29台（うち貸出用は、2台）、アライグマ用は、12台と年度内に6台を追加購入する予定です。
20	コミュニティーセンターと体育館の利用は、建築基準法などの違反により、施設が使えない状況であるので撤去してほしい。	施設の取壊しについては、利活用の検討を行った後に考えていきます。まずは、法律面などをクリアし利活用を進めていきます。 現在、現指定管理者とその協力事業者の間で旧校舎棟並びに体育館棟を改修し、活用する計画があり協議中です。ある程度公表できる段階まで来ましたら、地元（自治会）へも報告にまいります。
21	ほ場整備後に高山小学校の体育館を野菜の保管場所に使用できるようにするなど、今後の利活用について進めてほしい。	施設の利用については、民間企業に参入してもらえよう、地元の理解をいただきながら進めていきます。
22	町道高山木代線の拡幅工事について、一年繰り延べの話があったが、令和8年度に行えるように予算要求をお願いしたい。	来年度の予算に反映できるよう検討していきます。
23	おでかけくんが町外に行けなくなったのはなぜか。池田市、箕面市、川西市の病院に行きたい。	以前は、近隣の公立病院へも利用可能とじていましたが、ニーズが高くなり、一件一件の移動時間が長時間となった事や、運転手の人手が足りない状況等により、現在、町内の運行に限定しています。病院が行っている送迎や、介護タクシーを利用いただき、介護タクシーであれば箕面病院まで利用すると運賃の一部としておでかけくんのチケットを使用することもできますので、検討をお願いします。
24	おでかけくんの台数を増やすことはできないのか。	おでかけくんの増便については、考えていきます。増便となると陸運局の許可を得るのに地域公共交通会議に諮る必要もありますので、少し時間がかかるが考えていきます。

25	見守りサポートの周知はどのような形で行っているのか。もっと積極的に行って欲しい。	広報で周知するとともに、チラシも配布しています。今後も周知を図っていきます。
26	阪急バスは池田行きが朝の8時台がなくなったため、7時台のみになってしまった。働く人にとっては大変であり、ランドパスを使いたくても使えない。また、7時台のバスは混んでおり全然座れない。	バスの乗務員不足のため、他の地域では黒字路線でも減便、廃止となっている路線もあり、町内の赤字路線も減便、廃止となっている状況にあります。皆さんに少しでもバスに乗っていただき、また、デマンドタクシーについても移動手段として積極的に活用いただくようお願いします。
27	通院や池田、箕面に行くにも交通が不便である。また、国保診療所には送迎がない。	身近な診療所として、歯科も設置しておりますので、今後も受診をお願いします。東地区の医療の拠点でありますので、守っていきたいと考えておりますが、交通施策と同様で、利用いただかないと継続が難しいと感じています。
28	整形外科、歯医者誘致はできないのか。	整形外科が町内に無くなったのは大きな課題と認識しています。誘致に向けて動いていますが、難しいのが現状です。引き続き、開院していただけるよう努めていきます。
29	高齢者対策と一緒に財政も維持できる仕組みも考えていかないと、事業が維持できなくなるのではないか。	交通、医療、生鮮食料品の3つは、町づくりには絶対必要になると考えており民間の協力が必要です。また、それ以外では行政が直営でできるのではないかと考えています。介護保険の基金が、約10億あり、これから介護保険サービスを受ける方が増えてくる予想をしており、将来の保険料の負担が急激に上がらないようにするためにサービスの財源に充てていきたいと考えていますので、財源は確保できています。
30	健康寿命が高い町のPRを行っていき、若い世代の転入を進めてほしい。	町は、PRが下手な部分もあるので今回の意見を聞かせていただきPRを行っていきます。
31	若い世代を増やすには、暮らしやすいことが必要であり、整備が整っているところを見せていかないと転入してこない。	町の総合計画の中で定められている1万5千人を維持する施策を行っていきたいと考えています。具体的な施策としては、高校通学費補助、中学校給食無償化、来年度からは、全国で行われますが、小学校給食の無償化を行います。若年層の転入に補助金を出すなどの施策を行っております。

		が、しっかりとPRをしていきます。
32	<p>自治会からの要望で、令和7年7月に自治会の方で地域公共交通のアンケートを全戸配布した。一番多かった意見が、スクールバスの関係、次に、阪急バス、能勢電車、阪急電車、ハニタスと、いろいろな意見があった。阪急バス、能勢電、阪急電車へは、民間企業なので町としても交渉をしていただいています。利益重視のところもあり厳しい部分もあると思う。ハニタスに関しては、85%の方が知らない、使ったことがない。とのことで認知度がなかった。実証実験の結果がまだ出ていないので、何か問題点があったのか知らせてほしい。</p>	<p>能勢電車については、20年前の一日の乗降客数は、約1万2500人、令和4年度では、約5,150人となっており、60%減となっております。山下駅で折り返し運行になりましたが、10分ヘッドで運行していただいているのが、能勢電車の状況です。10分ヘッドを何とか守っていかねばならないと思っておりますので、昨年も申し上げましたが、普段は車の移動だと思いますが、何回かに一度は、能勢電車に乗っていただくと維持に繋がるのではと思っております。</p> <p>解決策は中々ありませんが、転入促進を行いながら利用者を増やしていきたい。また、逆方向についても人が利用できる施策はないかということで、妙見口の駅前で活性化についても取り組みを進めています。特効薬はありませんので、皆さんに日頃から能勢電車を一回でも多く乗っていただきたい。</p> <p>阪急バスについても乗務員不足が深刻化しています。豊能西線については、3,500万円の補助金を払っておりますが、町からの補助金額の問題ではなく、乗務員がいない。豊中、吹田の黒字の路線でも廃線、減便を行っている状況です。これも特効薬はありませんので、一度は乗っていただくようお願いし、能勢電車、阪急バスに要望を行いながら交通の確保に努めていきたいと思っております。</p> <p>ハニタスについては、町ホームページ、広報とよの10月号に掲載させて頂いておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
33	<p>スクールバスについては、9月議会で予算が付いて、先ほど町長からも1年生については、バスを走らせますとのことでしたが、自治会としても希望は、全小学生に対するスクールバスの運行が希望です。予算、定員の関係で厳しいことは、ある程度、理解していますが、少しでも、3年生、下級生を対象に、新光風台だけの問題ではなく、吉川地区の子どもの事も考えて頂ければと考えています。</p>	<p>とよの西学園までの通学距離は、一番遠い場所でも国の基準である小学校4km、中学校6kmという国の基準を満たしている点から、基本的には徒歩による通学、場合によっては公共交通機関による通学も認めるという方向で調整していました。</p> <p>しかし、路線バスのダイヤが改正され、学校の始業時間に合致する路線バスがなくなったこと、元々、学校が近いから新光風台に居住することを選択したにもかかわらず、通学距離が遠くなってしまった方々</p>

		がいらっしゃることを考慮し、今後のまちづくりの観点から、特に保護者のご不安が大きい小学校1～2年生を対象として、スクールバスを導入することとしたものです。
34	コミュニティカーシェアリングが話題になっていますが、今の情報では、NPO法人の運行は厳しいとっております。講演会を聞いて自治会としての意見を述べたいとっておりますので、よろしくお願いいたします。	カーシェアリングをやってみようという方もおられますので、実施に向けたサポートを行っていきたくと思っています。
35	<p>とよの西学園のスクールバスについて、新光風台に住んでいる1年生から2年生まではスクールバスが出ると聞きましたが、その基準はあるのか。授業開始時間は早まり、8時20分スタートと聞きました。通学に1時間かかるので、7時20分に家を出ないといけなくなるが、どう思われるか。町が財政難であるのは理解するが、お金がかからない方法でどうしていくのか、町長と教育委員会が話し合うことが大事だと思う。お金がないのであれば、シートス、幼稚園のバスを利用して、停留所を2回まわると全小学生が乗れると思うが、このような提案を考慮してもらえないのか。</p> <p>熊などの野生動物との遭遇もあります。登校班ができるようだが、見守りの人はボランティアで立っているため、見守りが行われるのか分からないのが不安である。</p> <p>ランドセルに関しても毎日は重いので、リュックに変更するなどの考慮をしてほしいと思う。</p> <p>夏の暑い中、一時間もかけて通学できるのか、学校に着いた時には、疲れて何もできない、何をしに学校に行っているのかと思うので、できれば、全年スクールバスを出してほしい。</p>	<p>とよの西学園までの通学距離は、一番遠い場所でも国の基準である小学校4km、中学校6kmという国の基準を満たしている点から、基本的には徒歩による通学、場合によっては公共交通機関による通学も認めるという方向で調整していました。</p> <p>しかし、路線バスのダイヤが改正され、学校の始業時間に合致する路線バスがなくなったこと、元々、学校が近いから新光風台に居住することを選択したにもかかわらず、通学距離が遠くなってしまった方々がいらっしゃることを考慮し、今後のまちづくりの観点から、特に保護者の不安が大きい小学校1～2年生を対象として、スクールバスを導入することとしたものです。</p> <p>幼稚園バスについては、教育委員会に申ししておりますが、幼児の仕様になっているため利用できないとのことでありましたので、細かい部分につきましては、教育委員会と話をし自治会にお答えさせていただきたいと思っております。</p> <p>スクールバス全体として、町としては引き続き検討していかねばならないと思っておりますが、令和8年4月1日は、1、2年生のみがスクールバスということで教育委員会と調整しております。それ以上のことについては、今後、検討していきます。</p>
36	スクールバスの問題は、教育委員会の問題だということですが、真面目に考えて頂いているのかということがある。机上で考えているだけで、現場を	スクールバスの問題等については、教育委員会とも町長として話をし、町づくりを進めていきます。

	見て考えている、教育委員会が責任を持ってやるというのが、町長がどれだけ言えるのか分かりませんが、将来の町を考える上でポイントになると思います。ここに来ると暮らしやすい、学校教育は大切なことで、いかに構築していくか大きなチャンスだと思います。住民側が納得できるような説明を教育委員会に言っていただきたい。	
37	今後、若年層の人口がどんどん減少していくため、現状の問題に対する対策でなく、若年層の人口を増やすために将来を見据えた取組が必要ではないのか。	これまでも、給食費や乳幼児医療の無償化、家屋除去費用や空き家の家財道具処分に対する支援、通学費補助、移住就職応援支援金などを実施しており、今年度からは新婚世帯への補助、妊婦へのタクシー代補助、Uターン補助なども始めております。ときわ台地区では住宅の入れ替わりが見られ、その影響から吉川小学校では新入生が増加しています。特効薬があるとは考えていませんが、財政状況を踏まえながら今後も対策を進めていきます。
38	以前の豊能町の魅力は教育だった。来年度から小中一貫校も開校するので、教育で町の魅力を高めて欲しい。	厳しい財政状況ではありますが、教育委員会とも連携を図りながら、教育について魅力を高めていけるように取り組んでいきます。
39	おでかけくんは町内しか使えないと聞いている。箕面病院まで使えるようにして欲しい。	以前は、近隣の公立病院へも利用可能としていましたが、ニーズが高くなり、一件一件の移動時間が長時間となった事や、運転手の人手が足りない状況等により、現在、町内の運行に限定しています。病院が行っている送迎や、介護タクシーを利用いただき、介護タクシーであれば箕面病院まで利用すると運賃の一部としておでかけくんのチケットを使用することもできますので、検討をお願いします。
40	要介護者を対象としたリフォーム補助の制度はないのか。	介護保険制度の中で住宅改修費に対する補助制度があります。詳細については、地域包括支援センターにご相談をお願いします。
41	新しい道路の計画等があれば教えて欲しい。	光風台4丁目から大和団地に抜ける道については、川西市との協議が整えば整備できる状況であり、歩行者及び自転車利用者は現在、通行できる状況です。

42	新光風台から一庫ダムに下りる土地の活用はどのように考えているのか。	現在のところ、活用の予定はありませんが、今後も利活用に向けて検討をしていきます。
43	地域包括支援センターの配置基準を教えて欲しい。地域包括支援センターに相続などの専門的な相談ができる場所を作って欲しい。	原則は中学校区に1箇所ですが、豊能町は面積が狭いため1箇所となっています。保健福祉センターに配置しております。地域包括支援センターになるのか、社会福祉協議会になるのか、町になるのかは別として今後検討していきます。
44	町内の病院が減っている。整形外科など病院を増やして欲しい。	整形外科が町内に無くなったのは大きな課題と認識しています。誘致に向けて動いていますが、難しいのが現状です。引き続き、開院していただけるよう努めていきます。
45	近隣の自治体と広域で高齢化について検討する場に参加したことはないのか。別の地域では実際にあると聞いている。	大阪府の南部ではそのような事例はあるが、北部ではありません。ただ、個人的にはそのような取り組みの必要はあると考えており、消防、図書館などは既に広域で取り組んでいます。これからも費用対効果等を踏まえて、広域連携を積極的に進め、住民サービスが低下しないように努めていきます。
46	自治会館の建て替え問題について、補強費用も建て替え費用とそれほど変わりがなく、どちらの方法も多額の費用が必要である。光風台には廃校となる学校はないが、学校の跡地を利用することは可能か。また、公共施設再編の中で自治会が使用できる部屋を設置してもらえるのか。	建て替え等に対する町の補助金は1,000万円が上限です。義務教育学校の建設や公共施設再編などの大型事業に注力していることもあり、上限を変更することは難しいと考えています。 公共施設再編の中であらゆる可能性について検討していきたいと思います。
47	西地区の公共施設再編が整備されるのは何年後か。	早くて令和12年度頃を考えている。なお、吉川や切畑のようにもともと公共施設であった建物を自治会館として活用した事例もあるので、いろいろな可能性を含めて検討していきたいと思います。
48	防犯カメラは設置から7年が経過しており、付替えの時期となっている。経費としては70～80万円かかるが、全額自治会で負担するのではなく町でも負担してもらえないか。	財政上の問題もありますので、今後、検討していきます。

49	町内には若者と高齢者の交流の場がないので、公共施設再編の中で作って欲しい。 また、ユーベルホールの今後について教えて欲しい。	公共施設再編については、減少している人口規模に合わせてダウンサイジングする必要があるため再整備し、これまで利用していたものをなくす予定はありません。多世代交流もできるようなスペースも含めた複合施設を建設する予定です。ユーベルホールについては、定員が500人ですが満員になることはほとんどないため、規模に合わせた形で再編する予定です。
50	おでかけくんの会員になったが、予約ができないため、タクシーを利用している。運転手の問題もあると思うが、2台から3台に増やすなどの対策をお願いしたい。	おでかけくんの増便については、考えていきます。増便となると陸運局の許可を得るのに地域公共交通会議に諮る必要もありますので、少し時間がかかるが考えていきます。
51	ふれあい広場のカギが閉まっている。ときわ台の子ども達が、ふれあい広場をいつでも利用できるように鍵を開けておいてほしい。避難地にもなっているので、いつでも利用できるように開放してほしい。	ふれあい広場につきましては、9時～17時頃の間で利用できるよう鍵を開けて開放しています。
52	10月26日にカーシェアリングの講演会があったが、自治会が取り組むにはハードルが高い。 ときわ台は坂が多く買い物に行くにも大変で引越しを考えないといけない。	カーシェアリングをやってみようという方もおられますので、実施に向けたサポートを行っていきたいと思っています。買い物などについては、今の段階では、デマンドタクシーの活用をお願いします。
53	カーシェアリングを行うことになれば、町は補助を出すのか。	何かしらの助成を行うことは必要と考えています。
54	小学校跡地利用について意見を聞くなどしてほしい。	学校跡地利活用については、自治会長、地区の方にも検討委員会の委員になっていただき、意見をいただいています。
55	ハニタスの運行結果を教えてください。	ハニタスの運行報告については、町ホームページと令和7年10月号広報に掲載しております。コストがかかるため、持続的な運行は難しい状況です。
56	デマンドタクシーはルートが決まっている。午前中は、病院の送迎で忙しい、午後と夜は時間を持て余している。タクシーが残せるようにうまく使って、積極的に使う手段を考えてほしい。	バスの乗務員不足のため、他の地域では赤字路線でも減便、廃止となっている路線もあり、町内の赤字路線も減便、廃止となっている状況にあります。皆さんに少しでもバスに乗っていただき、また、デマンドタクシーについても移動手段として積極的に活用いただくようお願いします。タクシ

		一の利用については、町としてどのようなことができるのか検討していきます。
57	デマンドタクシーの利用方法を考えてほしい。支所まで利用しているが、帰りの便がない、買い物は日生のオアシスに行ってる。	デマンドタクシーは、1時間に1本の運行を行っているが、1時間前の予約を30分の予約に変更できるかなどの方法を検討していきます。
58	自治会で取り組んでいる子どもとお年寄りのふれあいの取り組みなどを、広報などで紹介してもらい自治会加入促進のPRに使ってほしい。	より良いコミュニティ形成が図れるよう、引き続き自治会加入促進に向けた情報の提供や相談などの支援を行いたいと考えています。
59	自治会は、行政の下請けではない。自治会に対する対応と地域のコミュニティ作りとして考えてほしい。	自治会は地域住民の皆様が自主的に組織された、地域自治の要となる対等なパートナーであると認識しています。その自主性を最大限に尊重しつつ、協働によるまちづくりを推進していきます。
60	町内に整形外科はできないのか。	西地区の整形外科も閉院となり、現在は町内に整形外科はありませんが、開院いただけるよう努めていきます。
61	バスの減便等により交通の便が悪くなっており、介護タクシーも利用が難しいこともあり、近所の人に送ってもらう形になっている。 コミュニティ・カーシェアリングという方法もあるかもしれないが、先日、町で主催の説明会に行ったがなかなか難しいと考えている。 カーシェアリングの際に同乗して事故があったときに補償を役場とするなど、制度設計をしっかりと欲しい。そうでないと怖くて運転ができない。 交通に関して、阪急バスとの話し合いはしていないのか。	バス事業者と協議は行っております。減便となり、運転手の確保が難しく黒字路線も減便等をせざるを得ない状況となっております。 平日の昼間は乗車数が少ないため増便は難しいかもしれませんが、今後も引き続き協議を行っていきます。 また、野間口、牧、寺田、切畑もバスが廃線となっており、デマンドタクシー以外に何かできる方法がないか検討していきます。
62	子どもに対しての防犯が心配である。監視カメラなどは付けているのか。	防犯カメラは、数年前に自治会に補助金を出し設置してもらっています。 ふたば園の送迎バスも運行していますので、利用いただき、小学校に上がれば、オッタ、ミマモルメなどの見守り事業も行っていますので利用いただきたいと思います。
63	町に熊が出た場合は、どのような対応	広域で対応できるよう会議を開いている。

	を行っているのか。	大阪府や豊能警察、猟友会と連携し、現場確認や町ホームページ、たんぼぼメール等で情報発信を行い、自治会へ注意喚起を行っています。町内でも目撃情報はありますが、具体的な被害報告は聞いていません。
64	鹿が2頭、罾に引っかかった。メッシュの網が破れた箇所からイノシシが入ってくる。設置補助などを考えてもらえないか。	有害獣の防止柵設置等の補助事業があり、毎年、実行組合長会議、及び、行政連絡会で案内しています。 (補助率2分の1以内、上限額10万円)
65	町の職員で猟銃を扱える職員はいないのか。 何か対策は、できないのか。	猟銃を扱える職員は、現在おりません。今後は、個人の対策と地域で取り組む獣害対策を考えていくため、3月に専門家を招き、取組みの紹介と地域の方々への意識向上を図る予定です。 地域で話がまとまれば、支援を行う予定を考えています。
66	診療所の赤字はいくらぐらいか。 医療機器、人件費などが大きいのではないか。	赤字の要因は、人件費が大きく、医療機器の更新は、耐用年数があるため、定期的に更新を行っていく予定となっています。
67	診療所の利用促進の施策として、何かないのか。免許返納も考えると、箕面病院などは、患者の送迎もやっている。介護認定がないと福祉運送も使えない。良い先生がいても行く手段がない。	他の地域でも同様の意見をいただいているので、今後、考えていきます。
68	親と子どもが一緒に住めば、何かの特典のある施策をしてもらえれば、介護の問題も解決する。近隣に子どもが住んでいる方も多いので、町内に住んでもらえる施策をしてもらいたい。	財政上の問題もありますが、人口増加につながる施策を今後も考えていきます。
69	おでかけくんを町外に行けるように利便性を上げてほしい。	大きな病院に行けないかとの声はいただいているが、利用率が高く、町外運行を行うと更に予約を行うのが難しくなりますが、将来に向けて考えていきます。
70	以前に町に住んでいた人が、町内に戻ってくる施策をしてほしい。	転入・移住促進の補助金などを行っており、今年度からは、新たにUターン奨励金の補助金制度も行っています。

71	免許返納後の高齢者の移動について、ユーベルホールや西公での行事に参加しにくい、低価格で利便性の良い公共交通が必要である。	どのような方法があるのか考えていきます。
72	シニアカーの利用や足腰の衰えで車いすの利用者の増加が考えられるため道路環境の整備を行ってほしい。	舗装点検に基づいて作成した舗装修繕計画に従って修繕事業を執行しています。予算、補修の優先順位からまだ未着手の場所があるところがあることは把握していますが、局所的に損傷がひどい箇所等においては予算の範囲内で対応していきます。
73	民生委員の年齢制限と平日昼間の会議への参加がネックとなっており民生委員の人材が不足している。	いろいろな事をやっていただくことが多くありますが、町や社協に繋いでいただくような形でやっていただけたらと考えます。 高齢化の中、民生委員の協力員という制度を設けさせていただき、業務の分散ができるようにやっています。今後は、業務内容を広報等でお知らせしていきたいと思えます。
74	能勢電鉄の第三踏切があるが、川側の法面が崩れている、能勢電鉄にも申し入れをしており、カラーコーンを置いたりしているが、現状は知っているか。 ポールが抜け落ちており、町か池田土木の管理になるのか、現状を把握し対応をお願いしたい。	確認し対応していきます。
75	能勢高校の生徒が自転車でこけたこともあり、町に連絡したところ、その箇所のみを修繕した、吉川中央線は、町外の人も多く利用されるので、早急に修繕してほしい。	財政上の問題もありますが、対応していきたいと考えています。
76	おでかけくんの利用を町外の医療機関などに利用範囲を広げてほしい。	大きな病院に行けないかとの声はいただいているが、利用率が高く、町外運行を行うと更に予約を行うのが難しくなることが予想されますが、将来に向けて考えていきます。
77	要支援1のまま長年継続できている方がいる。このような人たちを表彰する制度、ポイント制度などを行うことができないか。川西市で笑顔貯金など	川西市の取組みを参考に本町でも考えていきます。

	の取り組みを行っている。町長からの表彰があれば、更に健康に取り組む励みになるので、考えてほしい。事業所に対しても何か補助をするなど行えないか。	
78	移民問題、外国人の受入れは、町としてどう考えているのか。治安を危惧している。土地の問題と空き家の問題があり、外国資本が購入して就労している。町の状況はどうか。	移民が多い地区はありませんが、介護サービス系などの従事者に外国の人に頼っている状況はあります。国政の事と考えますが、町としても注視していきたいと思えます。治安が保てることが課題だと思っています。土地の購入、投資については、把握できていない状況です。
79	公共施設再編のロードマップについて	一般廃棄物管理施設の完成が、令和8年6月の予定です。中央公民館、診療所、ふれあい文化センター、永寿荘の4つを1つの複合施設に整備し、令和10年4月の供用開始を目指しています。再編後の旧施設の利活用については、地元意向を確認し、また、民間などの利活用も考えていきます。
80	施設整備中の避難場所は、考えているのか。	整備工事中の避難場所としては、他の場所を選定する予定です。
81	バスの廃止に伴って、住民が困っている。	議会からも要望もあり、昨年4月に路線バスが廃線され、デマンドタクシーの時刻改正を行ったが、廃線された区域で、実証実験などの検討を行っていききたいと思えます。
82	介護認定を受けないために頑張って運転しているが、免許返納など急にバスを利用することになった時に移動手段がないことになるので、何か対策をしてほしい。	今後は、コミュニティ・カーシェアリングの取り組みを進めていきたいと考えています。
83	ほ場整備についてもお世話になっている。中間山間地域の要綱も改正される方向で動いていると聞いているが、進捗状況を教えてほしい。	府独自の制約は撤廃し、要綱が改正される方向で動いていると聞いています。
84	ほ場整備の業者の選定でも経験のない業者がやっているのでは、支障が出てきている。京都の方では、経験ある業者を限定で行っているとも聞いてい	大阪府へ要望を行っていききたいと思えます。

	<p>る。高山でもやり直しをしていると聞いており、発注する時に指名競争入札とすべきだと思う。仕様書の中に実績のある業者との選定を行うよう府へ要望をしてほしい。税金の無駄遣いにもなる。</p>	
85	<p>相続人不在物件の管理について、清算人をたてやっている物件がある。半分は、決まって、半分は、国庫帰属を考えている様です。河川敷、道路敷があるので、町へ相談があると思います。このような物件が増えると思うが、今後の対応も考えてほしい。</p> <p>国帰属では、防火水槽の対応をしてもらわないとできない、地元としては必要なものなので、何か対応を考えてほしい。</p>	<p>個別の案件については、担当部署に相談に来ていただき対応していきたい。</p> <p>相続に関しては、国としても罰則などの制度はあるが、相続放棄してしまうと進まないことにもなるので、今後の対応は考えていきたいと思います。</p>